

委員および一般からのご意見

①委員から流域委員会への意見、指摘 (2008/4/22~2008/4/24 第 77 回委員会以降)

平成 20 年 4 月 22 日開催の第 77 回委員会以降、委員からのご意見はありませんでした。

②一般からの流域委員会へのご意見 (2008/4/22~2008/4/24 第 77 回委員会以降)

No.	発言者・所属等	受取日	内 容
1025	紺谷吉弘氏	08/4/23	「天ヶ瀬再開発に関する意見及び質問」が寄せられました。別紙1025-1をご参照下さい。
1024	酒井隆氏	08/4/22	「近畿地方整備局は、流域委員会に対して、淀川水系河川整備計画「整備シート」の説明責任を求める！」が寄せられました。別紙1024-1をご参照下さい。

■天ヶ瀬再開発に関する意見及び質問

宇治市
紺谷 吉弘

天ヶ瀬再開発に関して意見及び質問を述べさせていただきます。

天ヶ瀬ダム周辺地質に関して情報を開示し、トンネル案についてダムの安全性をどのように検討したか明らかにすべきであると思います。

天ヶ瀬ダム管理事務所作成「天ヶ瀬ダム地質調査（作成年不明）」なる資料に天ヶ瀬ダム直下を通過する断層を記載した地質図が描かれている。この断層を仮に天ヶ瀬断層とよぶ。地質図の判読を試みたところ、天ヶ瀬断層はほぼ東西方向、垂直に近く、破砕帯の幅は5～10m、左ずれ約100mで、ダムの中心直下を通過している。また地質図には昭和31年1月から3月にかけて発生した左岸ダムサイトの位置に発生した大規模な土砂崩壊（いわゆる六石山崩壊）の範囲も示されている。（図1）

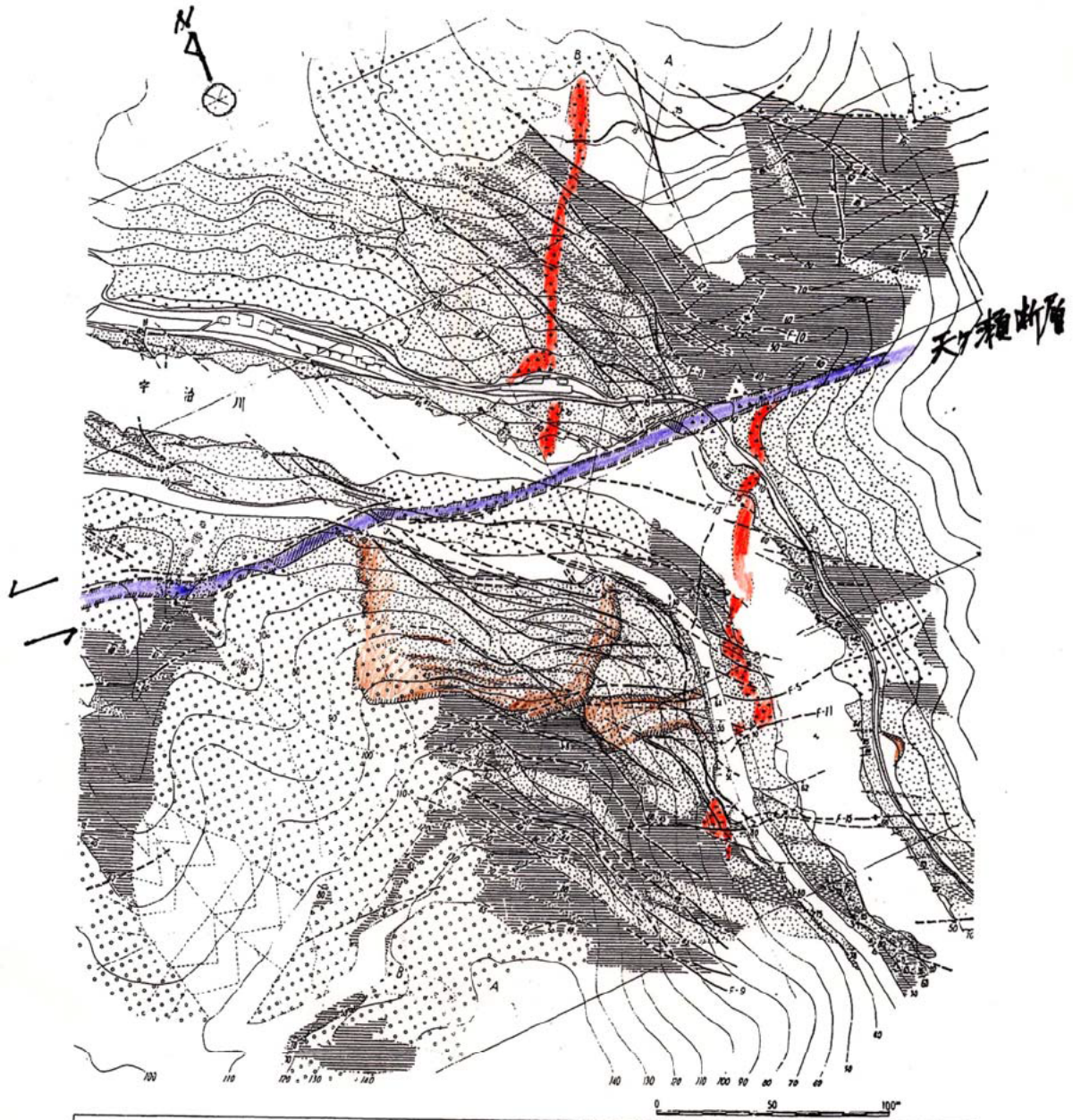
ダム周辺には多くの断層が認められる。地質図に記されている断層をトレースし、計画トンネル放流施設、発電用水路2本、堤外仮放水路、ダム堰堤を重ねてみたところ（図2）、アーチの形態からみて、右岸側においては、支持岩盤にはたらく力の方向は岩盤に発達する断層群（すべり面）の方向に一致するように思える。第72回委員会において右岸側の地質に関する意見を述べたが、地質図から見ると左岸側の方が右岸側よりも地盤が脆弱と考えられる。

上記の内容に関して流域委員会及び国交省の見解を示して頂きたい。

(図1)

18

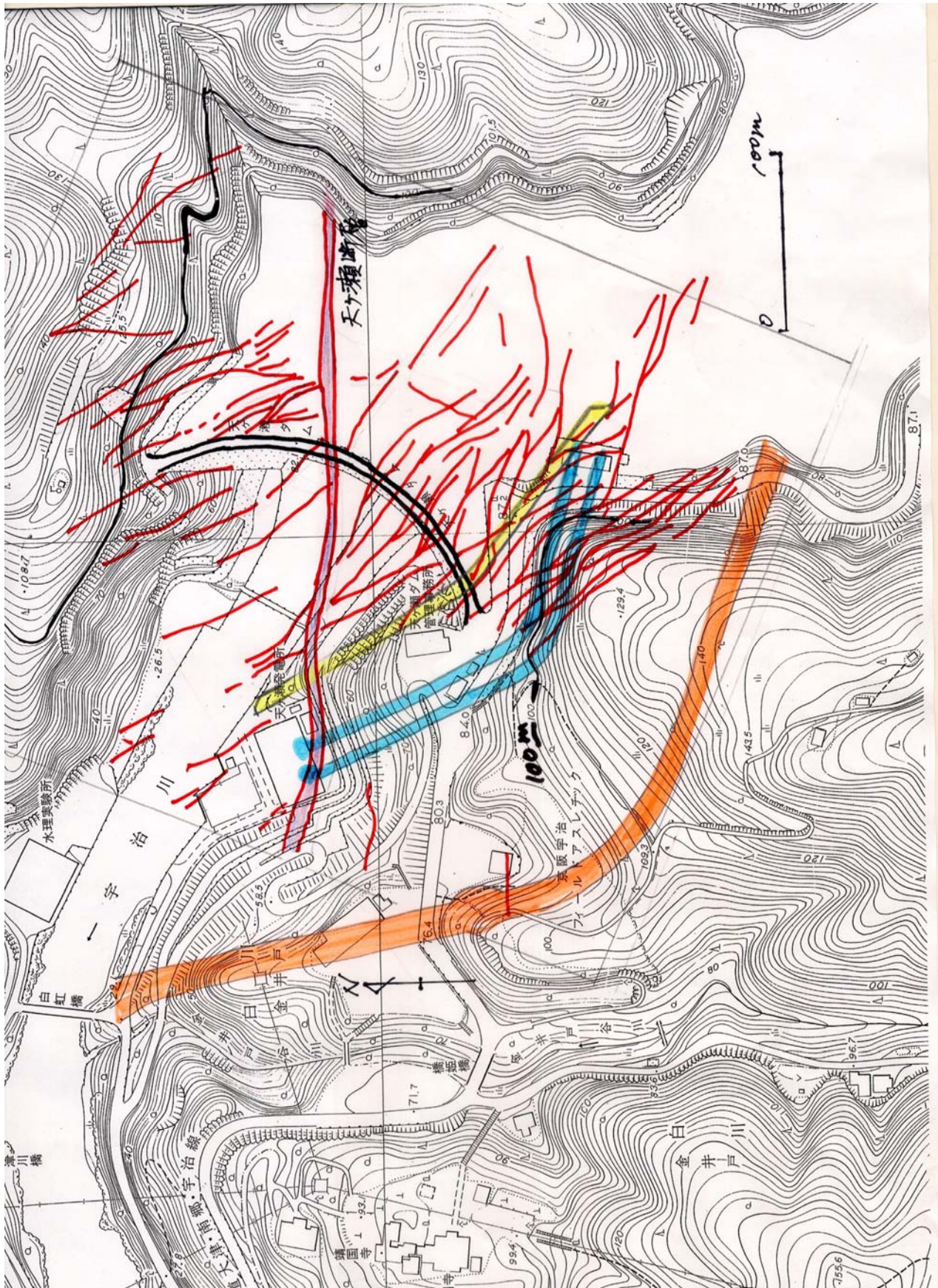
20



凡 例		主に砂岩からなる部分		砂 核 層		疑 惑 な 断 層 (右は 推定または伏在部分)
		主に粘板岩からなる部分		崖後地積物または礫		中 1~0.5m 程度 の 断 層 (右は 推定または伏在部分)
		砂核層を多量に含む砂岩(硬砂岩)または分層粘板岩互層		75 地層の走向傾斜 (右は傾斜90°)		中 0.5~0.3m 程度 の 断 層 (右は 推定または伏在部分)
		チャート		60 断層または地層境界の走向傾斜 (右は傾斜90°)		中 0.3~0.1m 程度 の 断 層 (右は 推定または伏在部分)
		珪 石				中 0.1m 以下 の 断 層 (右は 推定または伏在部分)

図-5 (a) グム サイト 地 質 図

(図2)



近畿地方整備局は、流域委員会に対して、淀川水系河川整備計画「整備シート」の説明責任を求める！

琵琶湖・淀川水系流域圏京都桂川流域住民 酒井 隆

今後の審議にあたって、近畿地方整備局は、淀川水系流域委員会休止前、その後の具体的な整備内容「シート」基礎案、1稿、2稿、3次流域委員会「意見」取りまとめに出された一般から意見及び整備局の河川整備計画策定に向けての取り組み「ご意見」回答等に関わる事業進捗状況を関係者・住民に対して説明責任を果たす必要があります。

「淀川水系流域委員会の役割1. 河川整備計画（案も含む）の計画内容の進捗の点検にあたって意見を述べる（意見1008）参照」